



NEWS LETTER KUMAMOTO

■ 発行:一般財団法人熊本市国際交流振興事業団 〒860-0806 熊本市中央区花畑町4番18号(熊本市国際交流会館)
 ■ Publisher:Kumamoto International Foundation(KIF)TEL:096-359-2121 / FAX:096-359-5783
 e-mail:pj-info@kumamoto-if.or.jp URL:https://www.kumamoto-if.or.jp

★CONTENTS★

P1 熊本市と海外の友好姉妹都市について
 P3 元 CIR たちからの祝福のメッセージ
 P4 新 CIR、事業団スタッフの紹介

P5 緑化フェアを終えて
 P7 世界を知る、海外協力隊報告～トンガ～
 P8 ちょっと日本語、賛助会員募集

熊本市と海外の友好姉妹都市について

～ドイツ・ハイデルベルク市友好都市締結30周年を迎えて～

1. 熊本市の国際化と海外との友好姉妹都市締結の経緯

熊本市の国際的取組は、1970年代後半以降、友好姉妹都市との国際交流を中心に活発となりました。国際交流では、ホームステイや市民の相互派遣等の交流事業を通して国境を越えた市民間の相互理解を増進し、外国を身近に感じたり、異文化や海外事情などの新たな知見を得たりできる機会を提供してきました。

2000年代に入ると、グローバル経済の発展とともに国内外で都市間競争が激化してきたことから、人の流れや投資の促進による直接的な市民のメリットや都市の活力向上につなげることが求められるようになってきました。

そこで地理的に近く、経済成長が著しい東アジアから、観光やビジネスなどの目的で選ばれることを目指す海外戦略が進められました。この頃から姉妹都市関係に依らない交流や連携も増えています。そして2010年代以降は、熊本市の独自の取組(地下水保全、熊本城復元、フェアトレード

など)が世界から注目される事例が見られるようになりました。2010年代後半からは、国際的なスポーツ大会やコンベンションの関係やインバウンドの増加が見込まれ、欧米等を含めた世界をターゲットとして、熊本市の魅力を海外に伝えるため、積極的なプロモーション活動やネットワーク構築が進められています。

本号では、ドイツ・ハイデルベルク市との友好都市締結30周年を記念し、改めて熊本市と海外友好姉妹都市との関係を紹介するとともに、それぞれ関係国との交流の歩みや、アメリカやドイツから派遣されていた元国際交流員(CIR)たちからのメッセージ、また、新しく着任した中国、韓国のCIRの紹介をします。本号だけでは全てを語りつくせないため、次号でも、その他の国際交流の歩みを紹介していきます。

2. 熊本市と海外の友好姉妹都市関係にある都市一覧

1	中国・桂林市	友好都市	1979年10月1日
2	米国・サンアントニオ市	姉妹都市	1987年12月28日
3	独国・ハイデルベルク市	友好都市	1992年5月19日
4	米国・ローム市	姉妹都市	1995年5月29日 *1
5	韓国・蔚山広域市	友好協力都市	2010年4月26日
6	仏国・エクサンプロヴァンス市	交流都市	2013年2月16日
7	中国・蘇州高新区	交流都市	2013年5月22日
8	台湾・高雄市	友好交流都市	2017年1月11日 *2

*1(旧植木町と締結) *2(県・市・高雄市の3者協定)

中国・広西チワン族自治区・桂林市

・昭和 54 年 5 月、来日した中国訪日団「中日友好の船」明華号(団員 600 名)の廖承志(りょうしょうし)団長(全国人民代表大會常務委員會副委員長、中日友好協会会長)から、本市と桂林市との友好都市提携の提案。

・昭和 54 年 7 月、永い歴史と風光明媚な景観をもつ桂林市

《最近の主な交流》

・令和元年(2019 年)10 月 第 9 回桂林国際山水文化旅遊節へ 5 名の派遣

・令和元年(2019 年)11 月 桂林市高校生友好訪問団 16 名の受入

・令和 4 年(2022 年)8 月 桂林市小中学生の書画作品の展示(熊本市国際交流会館 1F)

との友好都市提携についての具体的協議のため、本市から先遣団を派遣。

・昭和 54 年 10 月、梁成業(りょうせいぎょう)桂林市革命委員会主任を団長とする桂林市友好訪問団を迎え、市制施行 90 周年を機に、友好都市締結の調印式を執り行った。



*展示の様子

アメリカ・テキサス州・サンアントニオ市

・昭和 62 年 7 月、米国の複数の都市へ姉妹都市調査団を派遣し、テキサス州にあるサンアントニオ市が、アラモの砦に象徴される歴史、リバーウォークにみられる水と緑の美しい環境を擁し、本市と最も共通点を有する姉妹関係にふさわしい都市として注目を集めた。

・昭和 62 年 9 月、調査団の報告を踏まえ、市議会・執行部か

《最近の主な交流》

・令和 2 年(2020 年)1 月 熊本園改修に係る熊本市協議団 6 名の派遣

・令和 2 年(2020 年)1 月 第 1 回全国都市緑化フェア実行委員会へのサンアントニオ市委員 2 名の受入

・令和 4 年(2022 年)5 月 全国都市緑化フェア サンアントニオウィークの開催

らなる代表団を同市へ派遣。また同市より本市の視察のための訪問団が来熊し、両市の姉妹都市締結について具体的協議を行い、12月28日ヘンリー・シスネロス サンアントニオ市長を団長とする調印式訪問団を本市へ迎え、姉妹都市締結の調印式を執り行った。

ドイツ バーデン・ヴェルテンベルク州・ハイデルベルク市

・昭和 39 年、当時の石坂繁熊本市長が、西独政府の招きにより全国市長会訪問団の団長として、ハイデルベルク市を訪問。

・それを契機に、大学と城、そして市内を流れるネッカー河、と多くの類似点を有する両市の友好の歴史が始まった。

・平成元年、熊本市の市制施行 100 周年記念式典のためハイデルベルク市長や芸能グループが来熊。

・平成 2 年、共通の課題である地下水保全をテーマに熊本で

《最近の主な交流》

・令和元年(2019 年)9 月 熊本市民病院ファミリーハウス(キンダープラネット)完成

・令和元年(2019 年)10 月 ラグビーワールドカップ 2019 関連事業として U19 ラグビーチーム 28 名の受入

・令和元年(2019 年)11 月 JETRO(日本貿易振興機構)を通じ経済交流訪問団 7 名の派遣

・令和 2 年(2020 年)5 月 両市市長による新型コロナウイルス感染症対策等に関するオンライン会議を開催

・令和 4 年(2022 年)6 月 両市市長による友好都市締結 30 周年を記念したオンライン会議を開催

開催された水資源国際会議へのハイデルベルク市議会議員の参加。

・平成 4 年 5 月、ハイデルベルク市において「平和と環境に対する共通の責任」を理念とする友好都市 協定が調印。

・平成 4 年 9 月には熊本市において再調印が行われるとともに、地球的規模の環境問題をテーマとした催しを開催し、さらに広い分野に及ぶ活発な交流事業が展開されることとなった。

★次号(秋号)でも引き続き、ローム市、蔚山広域市、エクサンプロヴァンス市、蘇州高新区、高雄市との交流の歩みを紹介していきます！

今回のアメリカ、ドイツとの記念周年にあたり、以前、CIR として派遣されご活躍していただいていたアメリカのステイシーさんと、ドイツのエスターさんからメッセージをいただきました。

Stacy Smith (ステイシー・スミスさん) 2000年～2003年

皆さまご無沙汰しております。私はアメリカの熊本市国際交流員として赴任していましたステイシー・スミスです。皆さま覚えていますか？ 私と熊本の思い出は事業団が主催する英語サロン、アメリカサロンを始め、学校訪問、火の国祭り、山鹿燈籠祭り、阿蘇山、菊地溪谷、黒川温泉、牛深の浜辺、下通りや上通りをぶらぶら散策、市役所裏の青柳、セカンドサイトでのカラオケ(シャワー室がお気に入り！)、ダゴ汁、陣太鼓など本当に数えきれないぐらい沢山あります！実は初めて熊本を訪れた時、something else(サムシング エルス)という大好きなミュージシャンが同じ飛行機

にいました。次の夜に市民会館でコンサートがあったため行きました。熊本での初体験の出来事としては最高の思い出でした！今は故郷のニューヨークでフリーランス通訳者として勤めています。日本の物はほとんど何でも手に入りますが、温泉だけがないので一番恋しいです！帰熊できたのはもう何年も前のことですが、第二の故郷の熊本で過ごした3年間は人生の中で一番幸せな時期の一つです。未だに熊本のホームステイのお母さんをはじめ熊本の親友と親しい関係を保っています。いつになるか分かりませんが、皆さまとの再会が楽しみです！



熊本市に勤務していた当時の写真



現在の様子

Esther Santel(エスター・サンテルさん) 2004年～2006年

2004年から2006年まで熊本市のドイツ国際交流員として務めていたエスター・サンテルです。今でもとても懐かしく思い出深い素晴らしい2年間でした。熊本市はとても住みやすい街で、市民の方々が社会的で優しいことを知り、職場の人も最初から安心できる雰囲気でした。

「日本におけるドイツ年 2005-2006」の一環として行われた「ハイデルベルク・ウィーク」では、市役所や熊本市国際交流振興事業団の方と一緒に、準備や実施で結構忙しか

ったです。本番にはハイデルベルク市から合計約100人のお客様が訪れ、さまざまなイベントがありました。かなり疲れましたが、とても楽しかったです。今回、ハイデルベルク市と熊本市の友好都市締結30周年をお祝いできることを嬉しく思います。現在、私は8歳の娘と一緒にベルリンに住み、フンボルト大学で外国の博士課程の学生を指導しています。近いうちにまた熊本に行き、娘に日本と熊本を紹介したいと思います！

(実は、娘はお寿司が大好きです！)



熊本市に勤務していた当時の写真



現在の様子

□■□ 2022 年度、新任 CIR の紹介 ■□■



★中国 CIR 余 博文(ヨ ハクブン)さん

熊本市民の皆さま、ニイハオ。中国杭州市から来ました余 博文と申します。

2022 年 5 月中旬に熊本市の中国 CIR として着任しました。主な仕事は、熊本市民皆さまに中国の文化風習を紹介することや、中国から熊本市へ要人が来た際の通訳、翻訳などです。また、熊本市国際交流会館 2 階にある熊本市外国人総合相談プラザでは、毎週火曜日の午後 1 時から 5 時まで中国相談を行い、月に 1 回異文化理解講座「中国カフェ」で様々な中国の紹介をしています。

皆さま方も是非一度ご来場ください。これからもよろしくお願いします。

《インタビュー》

熊本のいいところ — 自然が豊か、歴史が悠久、市民が親切。

都市生活もゆとりのある生活も両方できる街だと思います。

熊本に住む外国の方へ一言

— 熊本のような住み心地のいい街では、楽しいことがいっぱいあるでしょう。

もしも悩みや不安を抱えて困っている時には、ぜひこの総合相談プラザにお越しください。微力ながらお役に立てるよう、頑張ります。



★韓国 CIR 尹 志銀(ユン・ジウン)さん

アンニョンハセヨ！熊本市民の皆さま、私は韓国蔚山広域市から来ました尹 志銀と申します。2022 年 5 月 17 日に熊本市の韓国 CIR として着任しました。主な仕事は、熊本市民の皆さまに韓国の文化風習を紹介することや、韓国から熊本市へ要人が来た際の通訳、翻訳などです。また、熊本市国際交流会館 2 階にある熊本市外国人総合相談プラザでは、毎週木曜日の午後 1 時から 5 時まで韓国相談を行い、月に 1 回異文化理解講座「韓国カフェ」で様々な韓国の紹介をしています。皆さま方も是非一度ご来場ください。これからもよろしくお願いします。

《インタビュー》

熊本のいいところ — どこに行っても熊本城が見えるのがいいと思います。

まだ、熊本に来たばかりで色々などころへ行ってみたいです。

熊本に住む外国の方へ一言

— 私も熊本に来たばかりで、まだ生活に慣れていません。

でも色々な経験をしながら熊本の魅力を探してみようと思います。一緒に頑張りましょう！

□■□ 事業団の新しいスタッフを紹介します ■□■



★Magdalena Mrzigod(マグダレナ・ムジゴト)さん

熊本市民の皆さま、私はポーランドから来ましたマグダレナ・ムジゴトと申します。

2022 年 7 月から熊本市国際交流会館に勤務しています。以前から日本に興味があり 2017 年には約 1 年間、熊本大学に留学していました。会館では異文化カフェやイベントの担当をしています。また、9 月にはポーランドを紹介するイベントを行います。皆さま、是非、この機会に参加してくださいね！お待ちしております～♪

「第38回全国都市緑化フェアくまもと花とみどりの博覧会」海外 Week
～フランス・エクサンプロヴァンスウィークとアメリカ・サンアントニオウィーク～を終えて

今春3月19日(土)から5月22日(日)に亘り、「くまもと花とみどりの博覧会」は3つのエリア(街なかエリア、水辺エリア、まち山エリア)で開催されました。私ども事業団では街なかエリア(花畑広場)にて、熊本市と交流都市関係にあるフランス・エクサンプロヴァンス市を「エクサンプロヴァンスウィーク」にて、そして姉妹都市アメリカ・サンアントニオ市を「サンアントニオウィーク」にてご紹介しました。それぞれ12のテントを張りだし、各テントに両市の紹介展示ブースや雑貨、食品の販売ブース、鉄球を投げて遊ぶフランスのゲーム「パタンク」体験コーナーを設け、また、各テントを巡回してもらえるようにクイズラリーなどを行いました。

期間中は約26,000人もの方々にご来場をいただくとともに、催事を実施するにあたり延べ119人のボランティア・スタッフの皆さまのご協力をいただきました。

期間を通して運営ボランティアの方々にテント(ブース)での来場者対応をしていただきました。友好姉妹都市に関する情報だけでなく、自分達で調べた知識と情報を持ち寄り、来場者へ各都市についての説明と案内を行っていたことは本当に感服いたしました。また、来場者の中には旅行や仕事、留学等で各都市を訪れたことがあるという方も多く、ボランティアの方と現地の思い出を語られていました。活動後に収集した意見でも今回の活動では来場者との交流が図れたことが多く、ボランティア活動についての意識向上にもつながったように感じられました。コロナ禍の中で、協力いただいたボランティアの皆さまにとって、とても良い機会となったことは何よりうれしく思います。改めて本紙面を持ちまして厚く御礼申し上げます。

〈フランス・エクサンプロヴァンスウィーク〉

実施期間：令和4年4月20日(水)～24日(日)10:30～17:00

来場者数：26,100人(クイズラリー参加者数 延べ490人)

出店団体：5団体(カフェドバリ、メゾンドプロヴァンス、Terre Ugo、オビュット社&株式会社クブレ)

展示内容：エクサンプロヴァンスの写真展示、同市にある日本庭園の紹介、パタンク体験など



エクサンプロヴァンス市関係者の挨拶



エクサンプロヴァンス市の観光紹介ブース



エクサンプロヴァンス市をモチーフとしたトートバック

パタンク体験の様子



・エクサンプロヴァンスウィークについて

世界的に新型コロナウイルス感染者の減少がみられた3月、当初断念していたエクサンプロヴァンス市から関係者の招聘が叶いました。ウィーク期間中はたくさんの来場者が花畑広場でテント(ブース)を巡り、エクサンプロヴァンスへの理解を深めるとともに招聘者との交流を図っていただきました。他、エクサンプロヴァンス市出身で熊本在住のソフィー・コソニ稲田さんによるエクサンプロヴァンス市の何気ない日常を写した写真展や、特に広場中央に設置されたパタンクコートでは南仏で人気のパタンクを体験できるとあって、老若男女、たくさんの方々が金属のボールを投げて、ビュットと呼ばれる的へ近づけて楽しむ様子が見られました。

〈アメリカ・サンアントニオウィーク〉

実施期間：令和4年4月27日(水)～5月1日(日)10:30～17:00

来場者数：29,900人(クイズラリー参加者数 延べ560人)

出店団体：3団体(食のマルシェ、ラ・カトリーナ、VOYAGER、ODEN)

展示内容：サンアントニオ市の観光紹介、ビデオで見るサンアントニオとクラフト作り、交流の歩み紹介パネル等



ビールにあう料理

クラフトづくり体験

・サンアントニオウィークについて

コロナ禍の影響でサンアントニオ関係者の招聘は叶いませんでしたが、ニレンバーグ市長からのビデオメッセージや現地スタッフからのワークショップ動画、多数のノベルティを寄贈いただきました。また、在福岡米国領事館やテキサス日本事務所等からもイベントを盛り上げて頂くなど暖かいサポートをいただきました。サンアントニオをより身近に感じていただくため、テイクアウト形式でのTEX MEX料理やクラフトビール、特製サンドイッチ、ソーセージ等を熊本市内の協力店に販売していただきました。展示品や紹介パネルを珍しそうに見ている来場者や、現地風景を再現したブルーボーネットの丘では、写真撮影を楽しむ方々の姿が多く見られ、また、ワークショップブースでは、工作等のデモンストレーションビデオを見ながらブレスレットや花飾りなどを作る体験をして頂きました。すべての動画においてサンアントニオの現地スタッフが「Hello Kumamoto」と呼びかけるシーンからスタートしており、このイベントへの想いを寄せてくれていることが伝わったと思います。



世界を知る

本項では「世界を知る」をテーマに JICA(独立行政法人国際協力機構) デスク熊本や、国際交流・国際協力分野で活躍している方、海外で生活している方々の協力を得て、日本で生活する私たちが日ごろ知ることが出来ない世界の興味深い状況をご紹介します

「トンガで得た宝物」

JICA 海外協力隊 2017 年度 1 次隊 (2017 年 7 月～2019 年 12 月)・トンガ・音楽
尾上香織(おのうえ かおり)氏 JICA デスク熊本 国際協力推進員

トンガ王国は南太平洋に浮かぶ小さな島国。多少の寒暖差はあるものの、年中太陽がさんさんと降り注ぎ、美味しい果物がたわわに実っています。トンガ人は一見シャイですが、話すとみんな温かく親切。別名“フレンドリーアイランド”と呼ばれる名前の通り、みな陽気でフレンドリーで、時がゆったりと流れています。国全体の面積は 720 平方キロメートル(日本の対馬と同じくらい)ですが、大小 170 余りの島々からなっています。人口は約 10.5 万人(2020 年)、公用語はトンガ語と英語です。1845 年にキリスト教徒のトゥポウ I 世がトンガを統一し、1900 年にイギリスの保護領となりました。1970 年にイギリスから外交権を完全に回復しており、大洋州で唯一植民地化されず、現在まで王制が残る国です。その王室は日本の皇室とも親交があり、実は大変な親日国です。公立の全ての小学校でそろばんの授業が行われ、高等学校では選択授業の一つとして「日本語」があります。

私は音楽隊員として弦楽器を中心とした音楽の指導を行いました。配属先は 18 歳以上の学生が通うトゥポウ高等専門学校。指導だけではなく、私自身も演奏を披露して弦楽器の普及に努めました。その演奏の場の一つがお葬式。トンガでは葬式前夜から葬式が終わるまで、音楽を絶やさず奏でます。死者を音楽で天国へと導く、その大事な場面での演奏に度々携われたことは大変貴重な経験でした。そのように音楽が盛んで生活の一部であるトンガですが、小学校で音

楽教育がされていないこともあり、西洋音楽に関する基礎知識や弦楽器、木管楽器の演奏や鑑賞など情操教育としての音楽の普及はまだこれからだと感じました。派遣前は未知の世界でしたが、実際に赴任してみるとトンガ人の心の温かさ、深さ、豊かさに触れ、シェアすることや家族を重んじるトンガ人から言葉だけでは図れない心の触れ合いの大切さに気づかされました。何よりトンガ人と出会えたことは、私にとって一生の財産となりました。そんなトンガが今年 1 月 15 日、大規模噴火という想像を絶する災害に見舞われました。あんなに色鮮やかだった景色が白黒写真かのように一面グレーとなった風景に、心が痛みました。また、津波や火山灰被害もさることながら、その後のコロナ感染拡大もさらなる不安をあおっています。そのような中、私の教えていた学校の校長先生が日々 Facebook 上で現地の状況をアップロードされており、大変な状況の中でもそれをものともせず火山灰の撤去や学校再開の準備に奔走している姿を見て、こちらが勇気をもらいました。どんなに辛くても生きる力と希望を捨てないトンガ人。東日本大震災、熊本地震においても救いの手を差し伸べてくださいました。今度は我々が恩返しをする番。時間はかかりますが、少しずつでも穏やかで美しいトンガに戻よう願っています。Malo ‘aupito! ‘Ofa atu(ありがとうございます。愛をこめて…)



ちょっと日本語

難しい日本語

NPO 法人日本語サポートあさ
小川ひろみ

英語理解可能な上級日本語クラスで、先日の「事件」を日本語で話す機会がありました。
その中で「SP(要人警護 Security Police)」がどうしても通じません。結局、これは和製英語で英語では Secret Service とか Body guards だそうです。以下は教室で通じなかったカタカナ日本語の一部ですが、外国語風だけに教師には要注意、学習者には難しい日本語です。

- ・プリント (教師が渡す紙の教材 hand out)
- ・テスト (重要な試験は exam 豆テストは quiz)
- ・ノート (notebook, ノートはメモ書き)
- ・カンニング (試験の不正行為 cheating)
- ・アンケート (questionnaire 語源はフランス語の enquete)
- ・アルバイト (part-time job 語源はドイツ語の arbeit)

こんなカタカナ日本語の楽しい歌が 2020 年ごろマレーシア生まれですが、ベトナムで流行っていました。
ちょっと覗いてみませんか。……TOKYO BON 東京盆り 2020(YouTube)……

☆☆ 2022 年度賛助会員募集！ ☆☆

当事業団では賛助会員を募集しています。私どもの活動にご理解とご支援をいただくとともに、更なる国際交流や国際協力の輪が広がることを願っています。会員の方々には事業団の機関紙「ニュースレターくまもと」の送付や様々な情報の提供をさせていただきます。ご協力いただける方はお手数ですが下記連絡先までお問合せいただきますようお願い申し上げます。

《個人会員》 一口 2,000 円 《団体会員》 一口 10,000 円

◇◇事業団 SNS のご紹介◇◇

事業団 SNS のご紹介 ~事業団が使っている SNS をご紹介します！是非アクセスしてみてくださいネ！~

Instagram		Facebook			Twitter	Youtube	相談プラザ
							
メイン	外国人向け	メイン	外国人向け	相談プラザ			



《お問合せ・連絡先》

一般財団法人熊本市国際交流振興事業団

熊本市中央区花畑町 4 番 18 号(熊本市国際交流会館)

(休館日)第 2・第 4 月曜日、年末年始(12 月 29 日~1 月 3 日)

(TEL)096-359-2121 (FAX)096-359-5783

E-Mail: pj-info@kumamoto-if.or.jp

URL: <https://www.kumamoto-if.or.jp>